住宅性能診断士 ホームズ君

あっと簡単見積



(Ver2.40 以降対応)

実例集

~実際に見積書を作ってみよう!~

「工事内訳見積書」を作成する手順を 実際の例に沿って解説します。





《目次》

| 見積書の種類 | 1 |
|---|--------------|
| マニュアルー覧 | 2 |
| 実例集 〜実際に見積書を作ってみよう!〜例題 1 新築工事概算見積 ーテンプレートを使用し、CAD 入力を使用した | 4 まいプランー4 |
| 使用テンプレート「A101新築工事概算見積(2階建て90㎡から150㎡)」 ■概要 : 新築工事の概算見積(グレード選択あり) ■CAD入力 : 利用しない ■諸経費 : 含む ■主な入力項目: 手拾施工床面積 | |
| 例題 1-1 見積書作成の全体的な流れ | |
| 例題 1-2 - 顧客慨妾の入力 | |
| 例題 1 - 4 積算数量の確認・編集 手入力数量の入力 | |
| 例題 1-5 見積書内訳の確認 | |
| 例題 1-6 見積書明細項目の入力 仕様の選択 | |
| | |
| 例題 1-8 値引きの設定 | |
| 例題 1-9 作成した見積書の印刷 | 14 |
| 例題 1-10 作成した見積書の保存 | 14 |
| 例題 2 水廻りリフォーム見積 ーテンプレートと CAD 入力を使用するプ | ランー15 |
| 使用テンプレート「C203リフォーム(水廻り、台所、食堂)部屋別見積」 ■概要 : 浴室、洗面所、便所、台所、食堂の全面改装(部屋別見積でである。 | |
| 例題 2-1 見積書作成の全体的な流れ | 16 |
| 例題 2-2 顧客概要の入力 | |
| 例題 2-3 テンプレートの読込 | |
| 例題 2-4 CAD 入力 部屋仕様・開口型番設定の入力 | |
| 例題 2-5 積算数量の確認・編集 | 30 |
| 例題 2-6 見積書内訳の確認 | 32 |
| 例題 2-7 見積書明細項目の確認・入力 | |
| 例題 2-8 諸経費の設定 | |
| 例題 2-9 値引きの設定 | |
| 例題 2-10 作成した見積書の印刷 | |
| 例題 2-11 作成した見積書の保存 | 37 |

耐震補強工事の概算見積 ーテンプレートと CAD 入力を使用するプランー......38 例題3

使用テンプレート「C302耐震補強_ホームズ君推奨(CAD 利用/外壁・屋根詳細面積)」

:ホームズ君推奨の概算見積(CAD数量を利用)

■CAD入力 : 利用する ■諸経費 : 含む

■主な入力項目:耐震補強項目(筋かい、耐力壁など)のCAD入力

| 例題 3-1 | 見積書作成の全体的な流れ | 39 |
|---------|---------------------|----|
| 例題 3-2 | 顧客概要の入力 | 40 |
| 例題 3-3 | テンプレートの読込 | 42 |
| 例題 3-4 | CAD 入力 面材耐力壁、筋かいの入力 | 43 |
| 例題 3-5 | 積算数量の確認・編集 | 49 |
| 例題 3-6 | 見積書内訳の確認 | 50 |
| 例題 3-7 | 見積書明細項目の確認 | 51 |
| 例題 3-8 | 諸経費の設定 | 53 |
| 例題 3-9 | 値引きの設定 | 54 |
| 例題 3-10 | 作成した見積書の印刷 | 55 |
| 例題 3-11 | 作成した見積書の保存 | 55 |

~本書の記述について~

本書では、説明内容を読みやすくするために、次のような記号を使用しています。



!.....気を付けていただきたいことや、注意事項を記述しています。



| ------項目についての解説を記述しています。



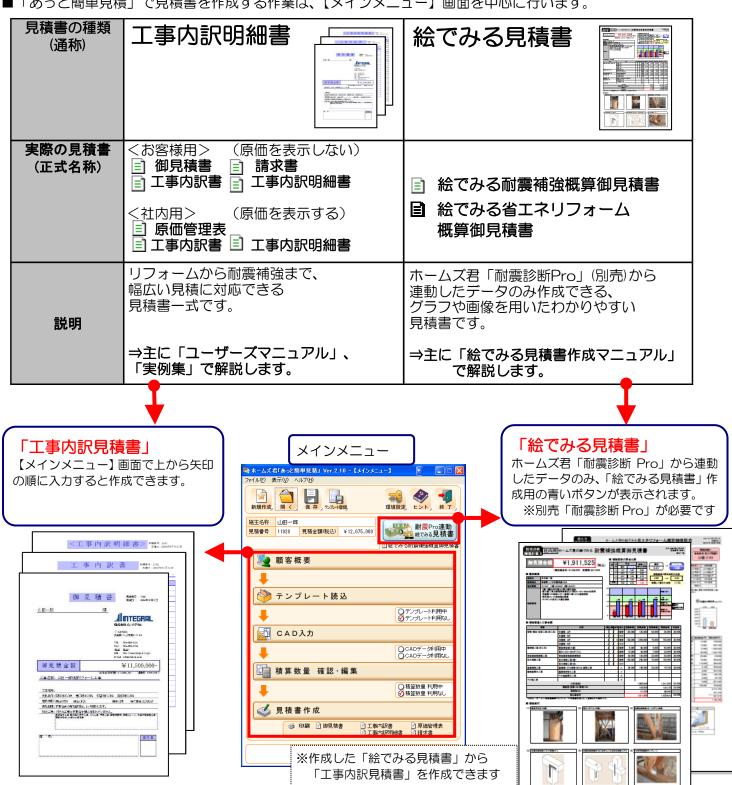
√操作方法を説明します。



ਊ.....ワンポイントアドバイス

見積書の種類

- ■「あっと簡単見積」では、下表の2種類の見積書を作成できます。
 - ※マニュアルやシステム上において下表の「見積書の種類(通称)」が表記されている場合、 下表の「実際の帳票(正式名称)」を指します。
- ■「あっと簡単見積」で見積書を作成する作業は、【メインメニュー】画面を中心に行います。



※マニュアルや画面上で単に「見積書」と表記されている場合は「**工事内訳見積書**」を指します。

※「絵でみる見積書」の出力には、別売のホームズ君「耐震診断 Pro」が必要です。

→「耐震診断 Pro」 Ver.2.30 以降 「絵でみる耐震補強概算御見積書」

「絵でみる省エネリフォーム概算御見積書」→「耐震診断 Pro」 Ver.3.06 以降

マニュアル一覧

- ■ホームズ君「あっと簡単見積」には、<u>7種類</u>の説明書(マニュアル)があります。(パッケージに同梱)
- ■赤い「PDF」アイコン(

) のある資料はPDFファイルでも提供しています。

 【メインメニュー】画面等の【ヘルプ】から閲覧・印刷できます。

| 名前と表紙 | | 内容 | 解説対象の見積書の種類 |
|----------------------------------|--|--|--|
| はじめる前に *-4xe あっと簡単 はじめる | 世見積 全 る前に | 必ず最初にお読み下さい。 システムのインストール方法や ユーザID登録など、初めて使用するまでに 必要な手順を説明しています。 | |
| | | ホームズ君「あっと簡単見積」をお使いになる前に、あらかじめ設定しておくことや、見積書作成の操作方法を解説します。 (インストール方法については 「はじめる前に」をご覧ください) | 1 |
| 実 | のと随業見積 ではいまり回転を を作ってみよう!~ 「エ思り回転車」のなするが確認 製品の成ともって新聞します。 | 「工事内訳見積書」を作成する 手順を実際の例に沿って解説します。 | 大学 (大学 (大学 (大学 (大学 (大学 (大学 (大学 (大学 (大学 (|

| | | マニュアル- |
|--|--|-------------|
| 名前と表紙 | 内容 | 解説対象の見積書の種類 |
| 「絵でみる見積書」 作成マニュアル ~耐震診断Pro連動~ 「絵でみる見積書」 作成マニュアル ~ホームス度 海側 Pro 連合~ | 「絵でみる見積書」について解説します。 ホームズ君「耐震診断 Pro」 (Ver4.2.1.1 以降/別売) をお持ちの方のみ作成できます。 | 工事内訳見積書 |
| 絵でみる見積書の積算方法 | 「絵でみる見積書」の積算方法 (根拠・数量の拾い方など)について 解説します。 積算根拠である「耐震診断Pro」の 「補強計画書」の内容と照らし合わせて 説明します。 | ※絵でみる見積書 |
| 耐震診断 Pro の断熱改修に基づく見積書作成 耐震診断 Pro の断熱改修に基づく見積書作成 | 耐震補強工事、省エネリフォーム工事の見積書を作成する手順を、「絵でみる見積書」を中心に解説します。 | 工事内訳見積書 |
| 屋根作成マニュアル ################################### | 3D表示における屋根の作成方法を実際の例に沿って解説します。 | _ |

※「**絵でみる見積書**」の出力には、以下の対応ソフト(別売)が必要です。 「**絵でみる耐震補強概算御見積書**」 → 「耐震診断 Pro」Ver.4.2.1.1 以降

「**絵でみる省エネリフォーム概算御見積書**」→「省エネ診断エキスパート」Ver.4.14 以降

実例集 ~実際に見積書を作ってみよう!~

本書では、ホームズ君「あっと簡単見積」と製品付属のテンプレートを使って、実際に見積書を作成する手順を紹介します。

例題 1 新築工事概算見積 ーテンプレートを使用し、CAD 入力を使用しないプランー

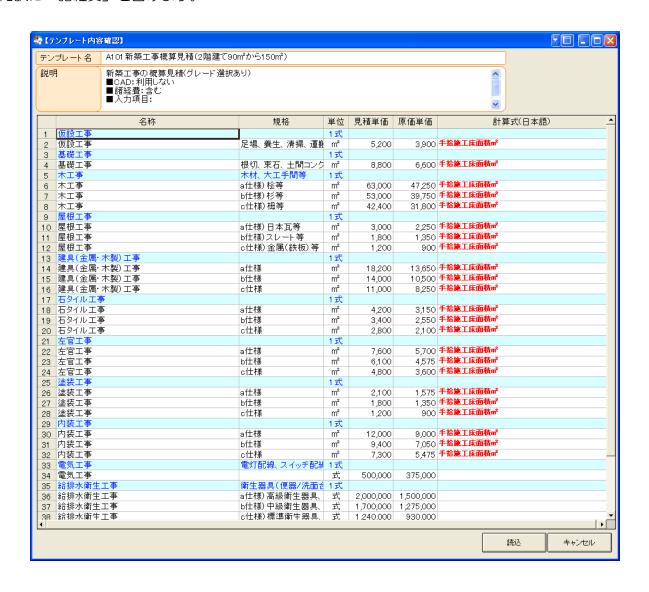
住宅の新築工事の見積書を作成します。作成には、テンプレートのみを使用します。 CAD入力は行いません。

使用するテンプレートについて

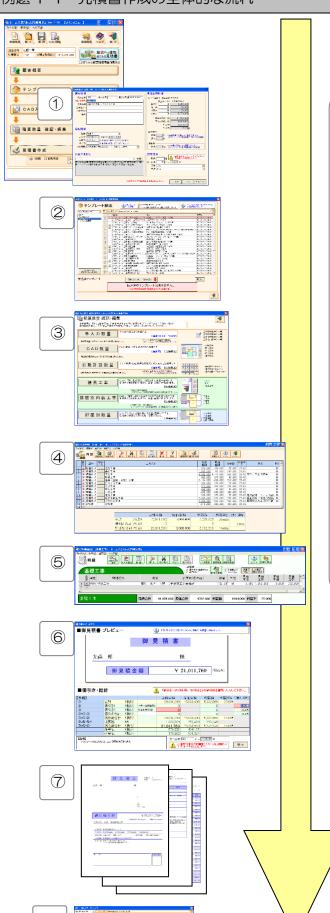
名称: A101 新築工事概算見積(2階建て90㎡から150㎡)

内容:

- ■手拾施工床面積を用いて、工事費を自動で算出します。
 - ※手拾施工床面積は手入力数量として直接入力します。
- ■CAD 数量は利用しないため、CAD 入力は行いません。
- ■明細項目に各工事の仕様が設定されているので、選択する必要があります。
- ■内訳に「諸経費」を含みます。



例題 1-1 見積書作成の全体的な流れ



8

本例題ではサンプルデータの「光森一郎」の作成を例にとって説明します。

ホームズ君「あっと簡単見積」を起動して、 【メインメニュー】画面を表示します。 CAD 入力を使用しない場合の、見積書作成の一般的 な流れを以下に示します。

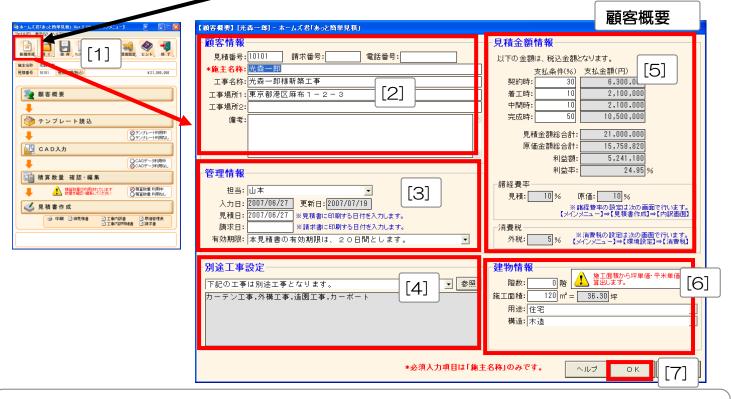
- ① 顧客概要を入力します。
- ② 取り込むテンプレートを選択します。
- ③ 積算数量の確認、編集を行います。
- ④ 見積書の内訳の確認を行います。
- ⑤ 内訳の明細項目を入力します。
- ⑥ 値引きの設定を行います。
- ⑦ 作成した見積書を印刷します。
- ⑧ 作成した見積書のデータを保存します。

次ページから各項目の詳しい入力方法を解説します。

例題 1-2 顧客概要の入力

メインメニュー

[1]新規作成ボタンをクリックし、【顧客概要】画面を表示します。



[2]顧客情報を入力します。

各項目にカーソルを合わせ、直接入力します。

- ■【見積番号】任意の番号を入力します。
- ■【工事名称】「光森一郎様新築工事」とします。
- ■【施主名称】**必須入力項目です**。「光森一郎」とします。
- ■【工事場所1、2】工事場所の住所を入力します。

[3]管理情報を入力します。

- ■【担当】見積担当者の名前を選択します。
- ■【請求日】請求書に印刷する日付を入力します。
- ■【見積日】見積書に印刷する日付を入力します。
- ■【有効期限】見積書の有効期限を入力します。

[4]別途工事設定を入力します。

別途工事のメッセージをプルダウンリストから選択します。

【参照】ボタンをクリックし、【別途工事選択】画面から追加したい工事の「対象」列をクリックして 選択します。選択した工事を下の欄に表示します。

[5]見積金額情報を入力します。

各項目にカーソルを合わせ、「契約時」「着工時」「中間時」「完成時」に支払う金額のパーセンテージを直接入力します。

[6]建物情報を入力します。

■【階数】建物の階数を入力します。

■【施工面積】は、【値引き・総計】画面で入力します。

※【顧客概要】画面で入力することもできます。

- ■【用途】プルダウンリストから建物の用途を選択します。
- ■【構造】プルダウンリストから建物の構造を選択します。

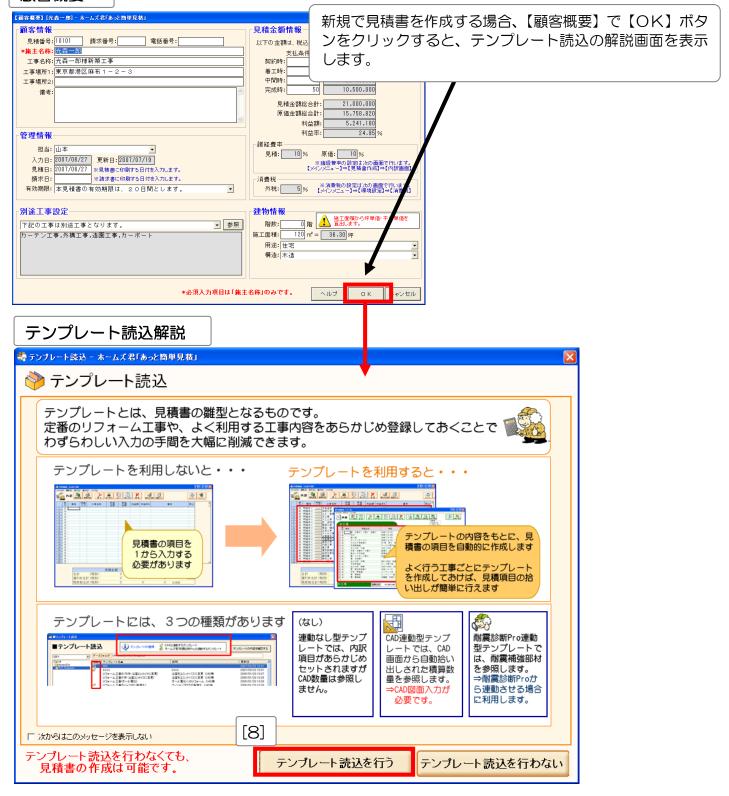
[7]入力が終了したら、【OK】 ボタンをクリックします。



顧客概要の灰色の筒所は、内容が自動で入力される筒所です。

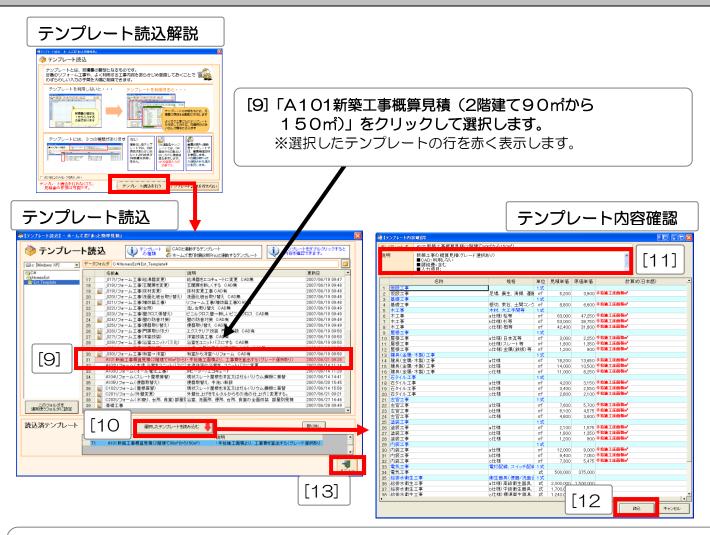
顧客概要

例題1 新築工事概算見積 ―テンプレートを使用し、CAD入力を使用しないプラン―



[8] 【テンプレート読込を行う】をクリックし、テンプレート読込画面に移ります。

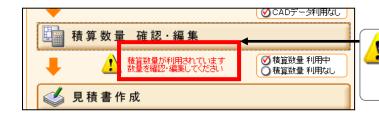
例題 1-3 テンプレートの読込



[10]テンプレートを選択した状態で【選択したテンプレートを読み込む】ボタンをクリックして【テンプレート内容確認】画面を表示します。

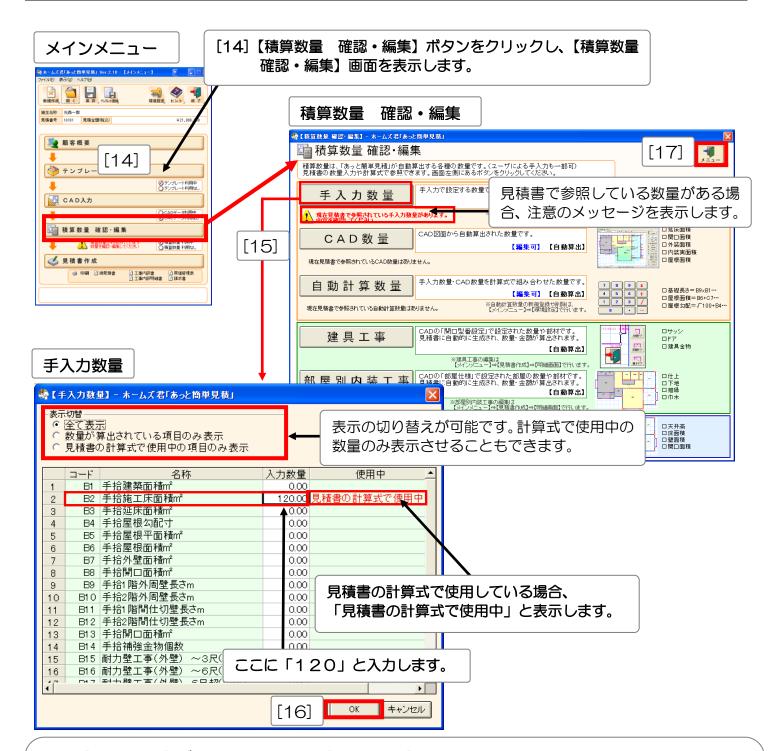
※行をダブルクリックしても、【テンプレート内容確認】画面を表示することができます。

- [11]テンプレートの内容を確認します。
 - ※【説明】には、テンプレートの概要が表示されています。(CAD入力の必要性、入力項目等)
 - ※入力が必要な積算数量(CAD 入力、手入力数量等)を表示します。
 - ※青行の項目→内訳画面の工事名称、白行の項目→明細画面の明細項目(名称、規格、単位、単価等)
- [12] 【読込】ボタンをクリックすると、見積書の内訳・明細画面にテンプレートの各項目を自動設定します。
- [13] 【テンプレート読込】の【メニュー】ボタンをクリックし、メインメニューに戻ります。



テンプレート読込の結果、利用する積算数量が発生 した場合は、メインメニューに注意のメッセージを 表示します。

例題 1-4 積算数量の確認・編集 手入力数量の入力



[15]【手入力数量】ボタンをクリックし、【手入力数量】画面を表示します。

「手拾施工床面積㎡」の【入力数量】をクリックし数量を入力します。ここでは、施工床面積として「120」と入力します。

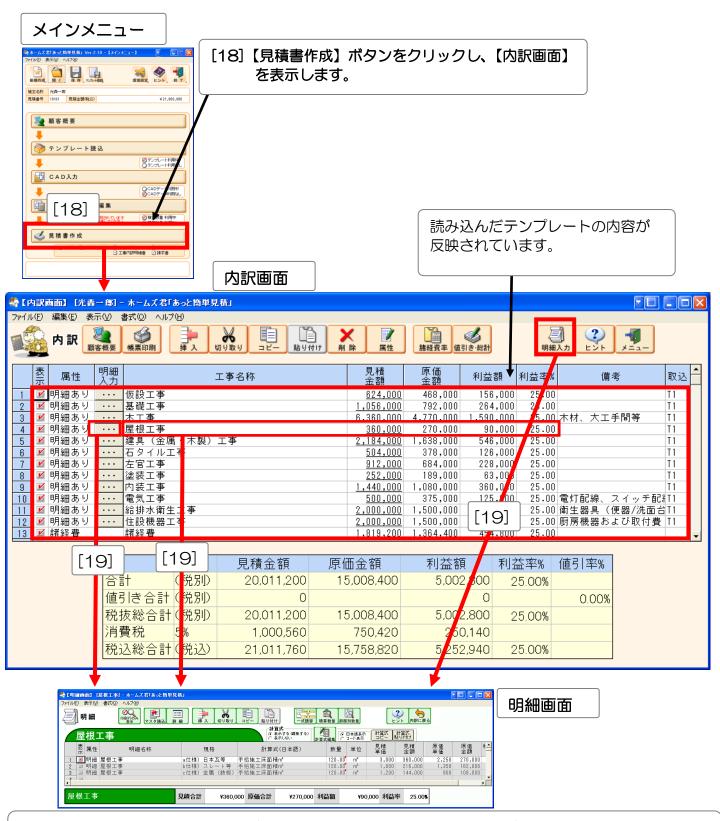


「見積書の計算式で使用中」となっている数量(この場合は「手拾施工床面積㎡」)には全て、必ず数値 を入力して下さい。

- [16] 【手入力数量】画面の【OK】ボタンをクリックし【積算数量 確認・編集】画面に戻ります。
- [17] 【積算数量 確認・編集】画面の【メニュー】ボタンをクリックしメインメニューに戻ります。

例題 1-5 見積書内訳の確認

内訳画面、明細画面には、読み込んだテンプレートの工事名や各種金額、利益率が自動入力されます。



[19] 【明細入力】列の【・・・】ボタンをクリックするか、【明細入力】ボタンをクリックすると明細入力画面に移ります。



【明細入力】【見積金額】【原価金額】【利益額】【利益率】の列でダブルクリック、もしくは 【明細入力】【見積金額】で Enter キーを押すことでも明細入力に移ります。

例題 1-6 見積書明細項目の入力 仕様の選択

明細画面



計算式を設定した行に、先ほど【手入力数量】で入力した数量が反映されています。





[20]仕様の選択を行います。 該当するグレードの 【表示】 列にチェックをいれます。 チェックが入っ ている列の金額を見積合計金額に計上します。

【表示】列にチェックが入っている項目のみ見積集計の対象となります。使用する仕様にチェッ クを入れて集計を行います。

例では以下の工事の【表示】列を、マウスでクリックして仕様の選択を行います。

- ■「木工事」
- ■「屋根工事」 ■「塗装工事」
- ■「建具(金属・木製)工事」■「石タイル工事」

■「給排水衛生工事」

- ■「左官工事」 ■「住設機器工事」
- 【表示】列ではスペースキーや文字キー、F2キーを押すことでも「表示/非表示」の変更がで きます。

■「内装工事」

- [21]【内訳に戻る】ボタンをクリックして内訳画面に戻ります。

Escキーを押すことでも内訳画面に戻ることができます。

例題 1-7 諸経費の設定

「A101 新築工事概算見積(2階建て90㎡から150㎡)」のテンプレートは、読み込んだ時点で、【内訳画面】に「諸経費」行が作成されていますので、諸経費率の確認・変更を行います。

内訳画面



■諸経費率 見積: 10% 原価: 10% (i) *ここで設定された値に基づいて、諸経費が自動計算されます。

[22] 【諸経費率】を確認・変更します。

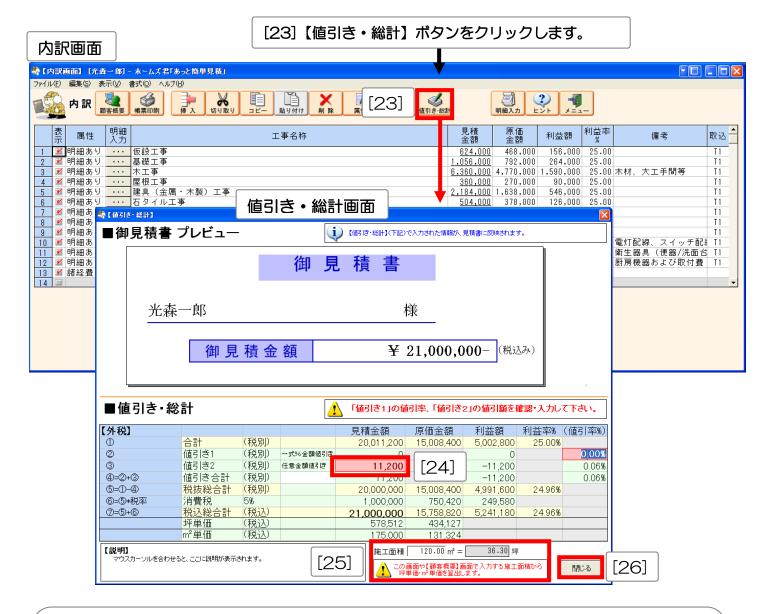
【諸経費】ボタンをクリックして【諸経費率編集】画面を表示します。必要に応じて、赤いテキストボックス内の諸経費率を変更します。

※初期状態では「見積:10%、原価:10%」に設定されています。



「諸経費」は、「諸経費」行より上の行の小計金額に対して計算されます。 諸経費率を変更すると、【内訳画面】の諸経費行の金額が自動で再計算されます。

例題 1-8 値引きの設定



- [24]【一式%金額値引き】と【任意金額値引き】をそれぞれ入力します。
 - ここでは【任意金額値引き】に「11200」を入力します。
 - ※関連する金額を自動計算します。
- [25]【施工面積】を入力します。ここでは「120」と入力します。
 - ※「坪単価」・「㎡単価」は、施工面積を基に自動算出します。



ここで入力する「施工面積」は「坪単価」「㎡単価」を算出するためだけに使用します。

[26] 【閉じる】 ボタンをクリックして内訳画面に戻ります。

例題 1-9 作成した見積書の印刷



- [27]【帳票印刷】ボタンをクリックします。
- [28]印刷する帳票を選択します。ここでは【お客様用帳票】の【御見積書】、【工事内訳書】、 【工事内訳明細書】をクリックします。
- [29] 【印刷】ボタンをクリックすると、選択した帳票を印刷します。 ※印刷プレビュー、PDF 出力も行うことができます。
- [30] 【メニュー】 ボタンをクリックしてメインメニューに戻ります。

例題 1-10 作成した見積書の保存



- [31] 【メインメニュー】の【保存】ボタンをクリックします。
- [32]【データ保存】画面で【保存】ボタンをクリックし、保存します。
 - ※データは【見積番号】と【施主名称】で区別します。
 - ※【別名保存】をクリックすると【見積番号】または【施主名称】を変更して保存します。

以上で見積書の作成は終了です。

例題 2 水廻りリフォーム見積 -テンプレートと CAD 入力を使用するプランー

水廻り、台所、食堂などのリフォーム工事の見積書を作成します。 作成には、テンプレートとCADを使用します。

使用するテンプレートについて

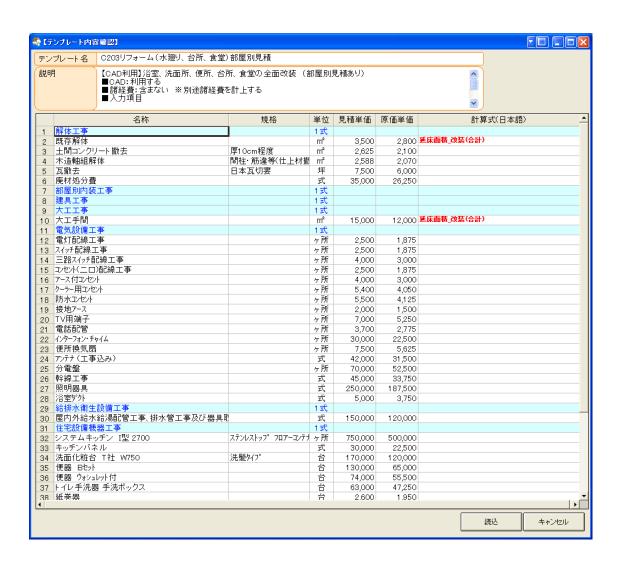
名称: C2O3 リフォーム(水廻り、台所、食堂) 部屋別見積

内容:

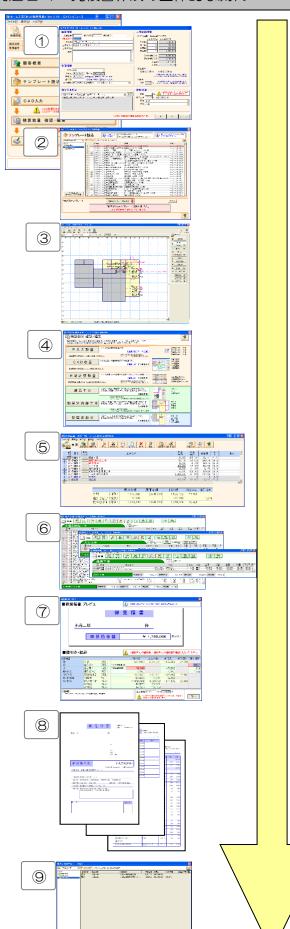
■計算式に CAD 数量を使用しているため、CAD 入力が必要です。

※CAD 入力を行うことで、CAD データから自動拾いされた積算数量(延床面積等)を、明細項目の【数量】に自動設定します。

- ■CAD入力での開口型番設定の入力により、建具工事の工事項目と金額を自動算出します。
- ■CAD入力での部屋仕様の入力により、部屋別内装工事の工事項目と金額を自動算出します。
- ■「諸経費」は含まれません。



例題 2-1 見積書作成の全体的な流れ



本例題ではサンプルデータとして「光森二郎」の作成を例にとって説明致します。

ホームズ君「あっと簡単見積」を起動して、 【メインメニュー】画面を表示します。 テンプレートと CAD 入力を使用した場合の、見積書 作成の一般的な流れを以下に示します。

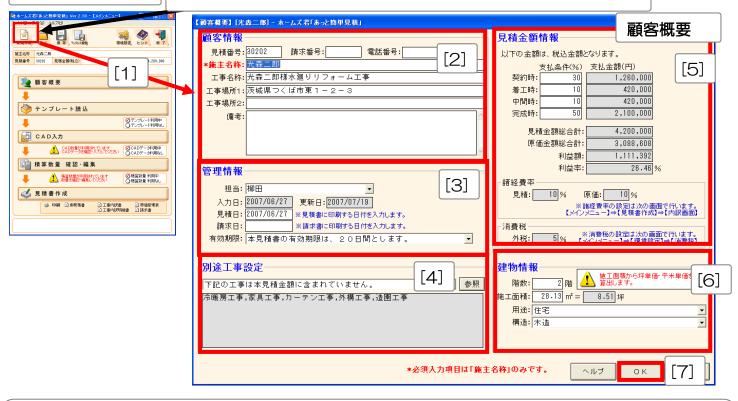
- ① 顧客概要を入力します。
- ② 取り込むテンプレートを選択します。
- ③ CAD 入力を行います。
- ④ 積算数量の確認、編集を行います。
- ⑤ 見積書の内訳の確認を行います。
- ⑥ 内訳の明細項目を確認・入力します。
- ⑦ 値引きの設定を行います。
- ⑧ 作成した見積書を印刷します。
- ⑨ 作成した見積書のデータを保存します。

次ページから各項目の詳しい入力方法を解説します。

例題 2-2 顧客概要の入力

メインメニュー

[1]新規作成ボタンをクリックし、【顧客概要】画面を表示します。



[2]顧客情報を入力します。

各項目にカーソルを合わせ、直接入力します。

- ■【見積番号】任意の番号を入力します。
- ■【施主名称】必須入力項目です。「光森二郎」とします。
- ■【工事名称】「光森二郎様水廻りリフォーム工事」とします。
- ■【工事場所1、2】工事場所の住所を入力します。

[3]管理情報を入力します。

- ■【担当】見積担当者の名前を選択します。
- ■【見積日】見積書に印刷する日付を入力します。
- ■【請求日】請求書に印刷する日付を入力します。
- ■【有効期限】見積書の有効期限を入力します。

[4]別途工事設定を入力します。

別途工事のメッセージをプルダウンリストから選択します。

【参照】ボタンをクリックし、【別途工事選択】画面から追加したい工事の「対象」列をクリックして 選択します。選択した工事を下の欄に入力します。

[5]見積金額情報を入力します。

各項目にカーソルを合わせ、「契約時」「着工時」「中間時」「完成時」に支払う金額のパーセンテージを直接入力します。

[6]建物情報を入力します。

■【階数】建物の階数を入力します。

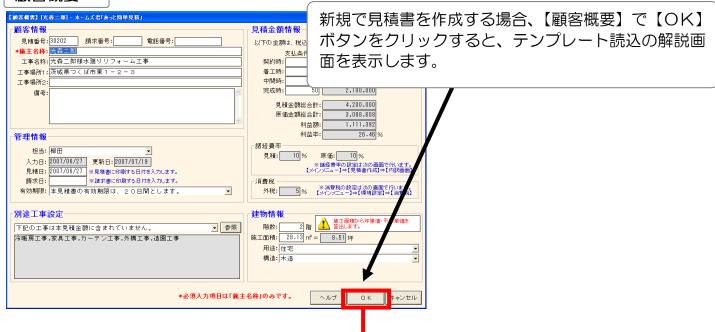
- ■【施工面積】は、【値引き・総計】画面で入力します。
- ■【用途】プルダウンリストから建物の用途を選択します。
- ※【顧客概要】画面で入力することもできます。
- ■【構造】プルダウンリストから建物の構造を選択します。

[7]入力が終了したら、【OK】ボタンをクリックします。

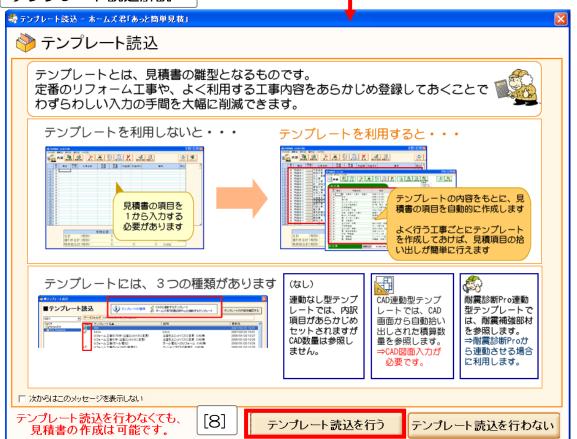


顧客概要の灰色の箇所は、内容が自動で入力される箇所です。

顧客概要



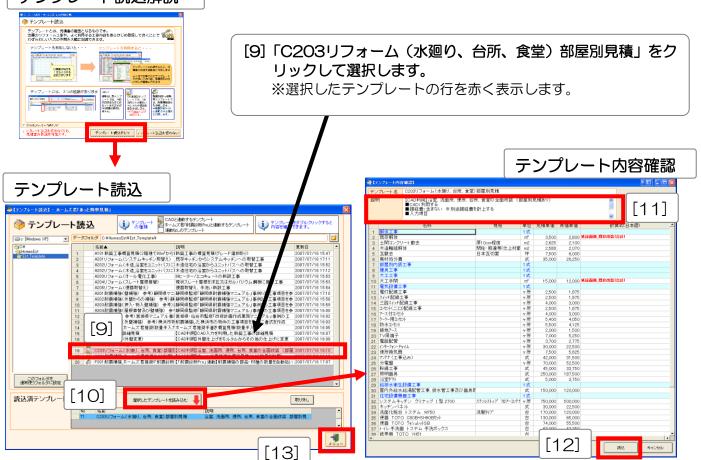
テンプレート読込解説



[8] 【テンプレート読込を行う】をクリックし、テンプレート読込画面に移ります。

例題 2-3 テンプレートの読込

テンプレート読込解説

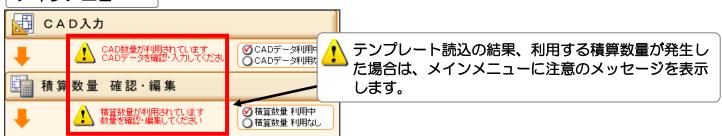


[10]テンプレートを選択した状態で【選択したテンプレートを読み込む】ボタンをクリックし【テンプレート内容確認】画面を表示します。

※行をダブルクリックしても、【テンプレート内容確認】画面を表示することができます。

- [11]テンプレートの内容を確認します。
 - ※【説明】には、テンプレートの概要が表示されています。(CAD入力の必要性、入力項目等)
 - ※必要な入力(CAD入力、手入力数量の入力等)を表示します。
 - ※青行の項目→内訳画面の工事名称、白行の項目→明細画面の明細項目(名称、規格、単位、単価等)
- [12] 【読込】ボタンをクリックすると、見積書の内訳・明細画面にテンプレートの各項目を自動設定します。
- [13] 【テンプレート読込】の【メニュー】ボタンをクリックし、メインメニューに戻ります。

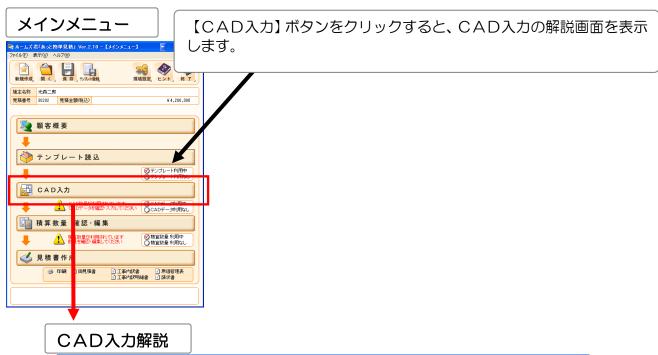


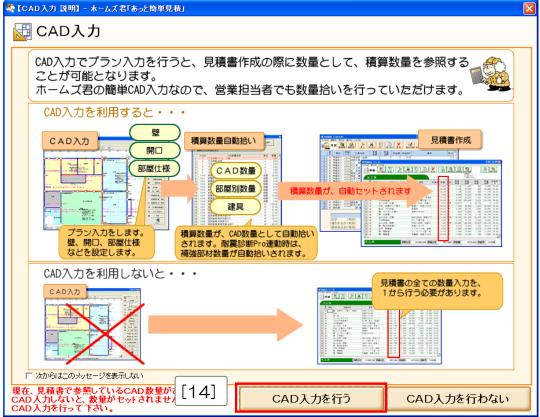


例題 2-4 CAD 入力 部屋仕様・開口型番設定の入力

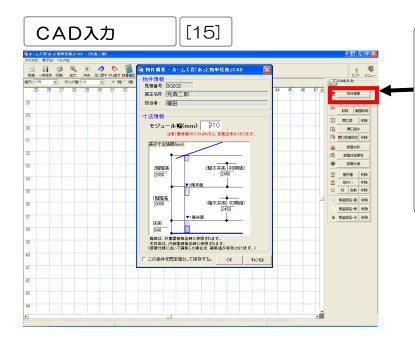
CAD 入力の詳しい入力方法はユーザーズマニュアル「第6章 CAD 入力」をご覧ください。

CAD 入力では、工事の対象となる物件の情報を全て入力する必要はありません。工事の対象箇所の情報のみ入力すれば OK です。





[14]【CAD入力を行う】をクリックし、CAD入力画面に移ります。

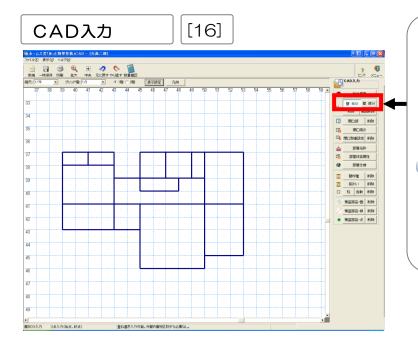


[15]物件概要を入力します。

「モジュール幅」、「階高」、「床高」 「天井高」を設定します。 これらの情報を、寸法情報として拾い 出します。



「モジュール幅」は壁を入力すると変更 できなくなるのでご注意下さい。

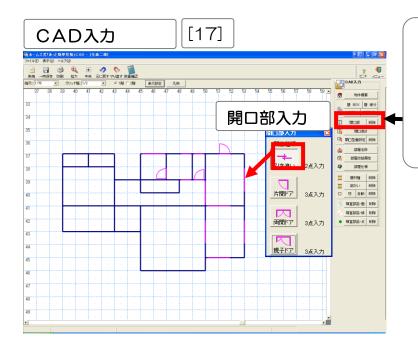


[16]壁を入力します。

【壁 BOX】ボタンまたは【壁 線分】ボタンをクリックし、壁入力モードに切り替えます。

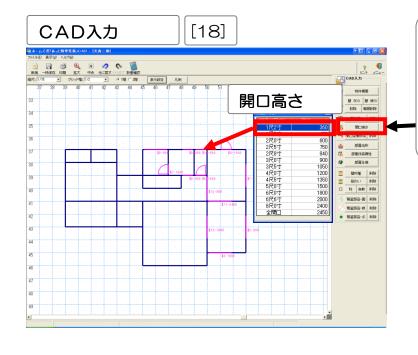
始点・終点2点を指示し、壁を入力します。

- 望入力を行うことで、CAD 数量の「延 床面積_新築」を自動で拾い出します。
 - 内壁/外壁の区別は不要です。CADが 自動的に判別を行います。



[17]開口部を入力します。

【開口部】ボタンをクリックし、 開口部入力モードに切り替えます。 【開口部入力】画面で開口部の種類を選 択し、始点・終点の2点を指示して開 口部を入力します。



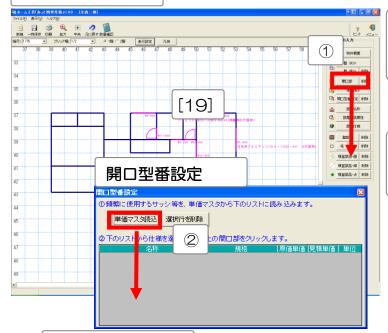
[18]開口高さを入力します。

【開口高さ】ボタンをクリックし、開口高さ設定モードに切り替えます。 【開口高さ】画面で高さを選択し、高さを設定したい開口部を選択して、開口高さを設定します。

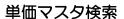
[19] 開口型番設定を行います。

開口部に設定したいサッシの情報を、単価マスタから読み込みます。

CAD入力



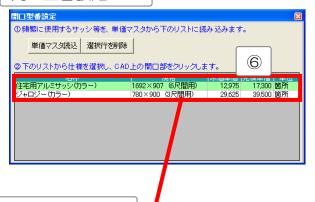
- ①【開口型番設定】ボタンをクリックして 【開口型番設定】画面を表示します。
- ②【単価マスタ読込】ボタンをクリックして、【単価マスタ検索】を表示します。



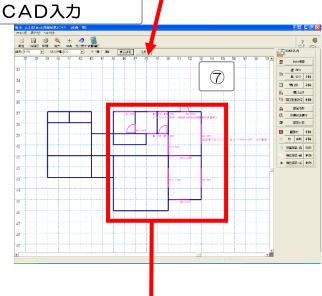


- ③【単価マスタ検索】画面で、必要な部材の 種類を左側のツリーから選択します。 画面左のツリーから「金属建具工事」ま たは「木製建具工事」を開き、追加した い建具の種類を選択します。
- ④右の検索結果に、該当する部材一覧を表示 するので、必要な部材を選択します。
- ⑤ 【決定】 ボタンをクリックして 【開口型番 設定】 のリストに追加します。

開口型番設定



⑥読み込んだ部材を【開口型番設定】画面の リストから選択します。



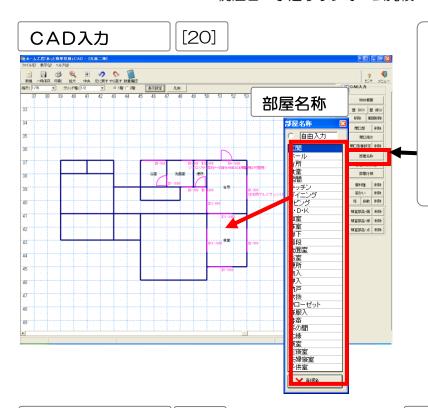
⑦選択した部材を使用する開口部をクリックして、部材情報を設定します。

この例では「ジャロジー (カラー)」と「住宅 用アルミサッシ (カラー)」を選択します。





- ■【開口型番設定】を行うと、見積書内訳に【建具工事】を自動作成します。
- ▶■見積書明細には、選択した開口部の部材の単価と数量を自動で設定します。



[20]部屋名称の設定を行います。

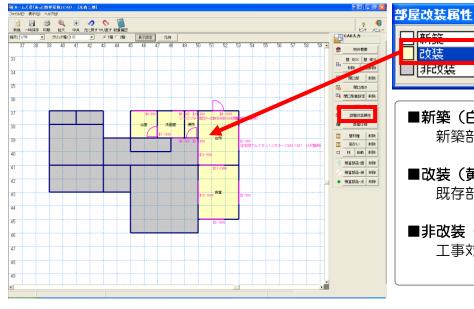
リストから名称を選択、図面上に入力し ます。自由入力欄を利用して任意の名称 を入力することもできます。

この例では「台所」「食堂」「便所」「洗 面所」「浴室」の5箇所の名称を設定し ます。

CAD入力 [21]

部屋改装属性

改装



■新築(白色で表します。)

新築部分の区画を指します。

×

■改装(黄色で表します。)

既存部分で工事対象の区画を指します。

■非改装(灰色で表します。)

工事対象外の区画を指します。

[21]部屋改装属性の設定を行います。

属性を選択し、属性を変更したい部屋をクリックします。属性ごとに図面上の部屋を色分けし て表示します。

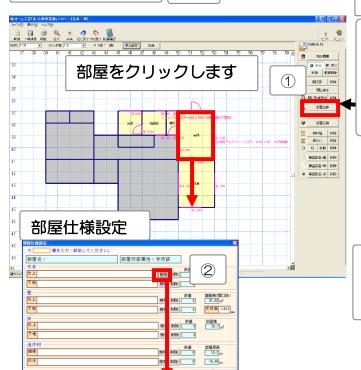
この例では部屋名称を設定した5部屋を「改装」属性とし、その他の部屋を「非改装」属性とし ます。



部屋改装属性の種類ごとに延床面積の集計を行います。

CAD入力

[22]

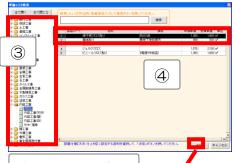


[22]部屋仕様の設定を行います。

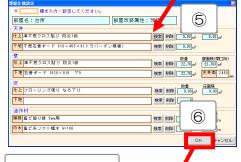
①【部屋仕様】ボタンをクリックし、仕様を設定したい部屋、(ここでは「台所」)にマウスカーソルを合わせてクリックし、【部屋仕様設定】画面を表示します。

②仕様を設定したい箇所の仕上材、下地材の 【検索】ボタンをクリックし、【単価マスタ検索】 画面を表示します。

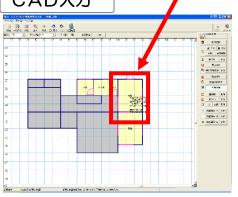
単価マスタ検索



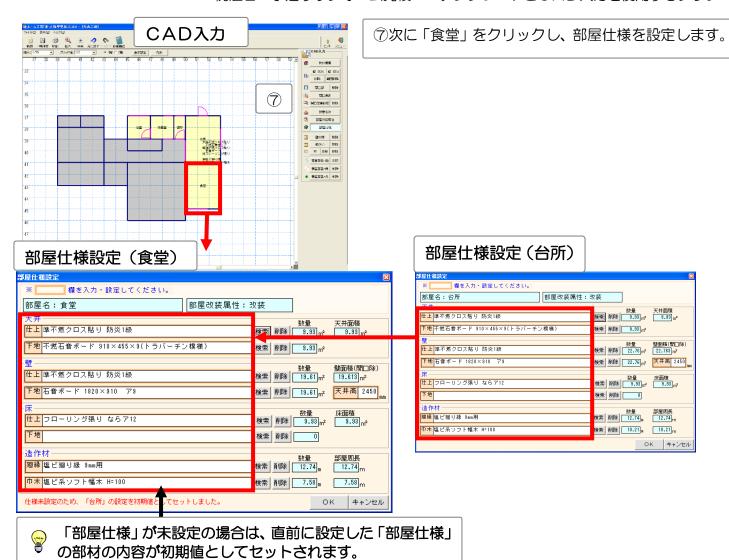
部屋仕様設定



CAD入力



- ③【単価マスタ検索】画面の左側のツリーから 部材の種類を選択します。
- ④右側の検索結果に、部材の種類に属する部材の一 覧を表示するので、使用する部材を選択し、【決 定】ボタンをクリックします。
- ⑤【単価マスタ検索】画面で選択した部材が【部屋仕様設定】画面に反映されます。ご確認下さい。
- ⑥必要な部材を設定したら【OK】ボタンをクリックしてCAD入力画面に戻ります。 台所に設定した部材を表示します。

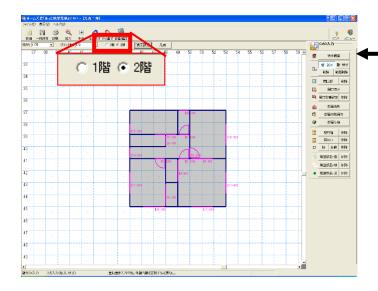


以上の①~⑤の操作を繰り返し、「浴室」「洗面所」「便所」にも部屋仕様を設定します。



- - ■【部屋仕様】を設定すると、見積書内訳に【部屋別内装工事】を自動作成します。
 - ■【明細画面】では、選択した仕上材・下地材を自動設定します。
 - ■仕上材・下地材の数量を、CAD データを基に自動算出します。

CAD入力 [23]



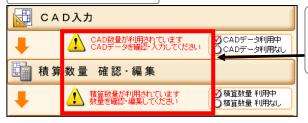
[23] 2階部分を作成します。

画面上部のオプションで階数を選択します。 [16]壁入力、[17]開口部の入力、[18]開口 高さの入力と同様の操作を行い、2階部分の 部屋を作成します。

[21]部屋改装属性の設定と同様の操作で、全ての部屋を「非改装」にします。

※非改装部分なので、入力しなくても見積 書の金額に影響はありません。

メインメニュー

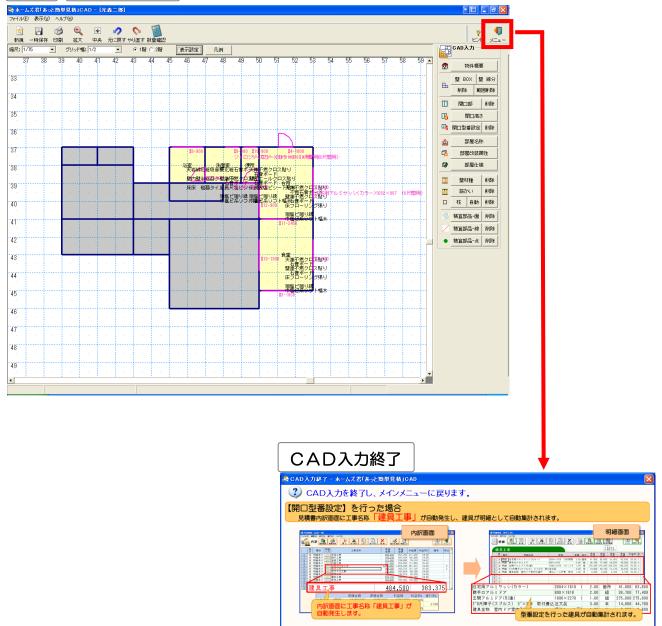




CAD入力の結果、利用する積算数量が発生した場合は、メインメニューに注意のメッセージを表示します。

例題2 水廻りリフォーム見積 --テンプレートとCAD入力を使用するプラン--





[24] 【メニュー】ボタンをクリックし、メインメニューに戻ります。



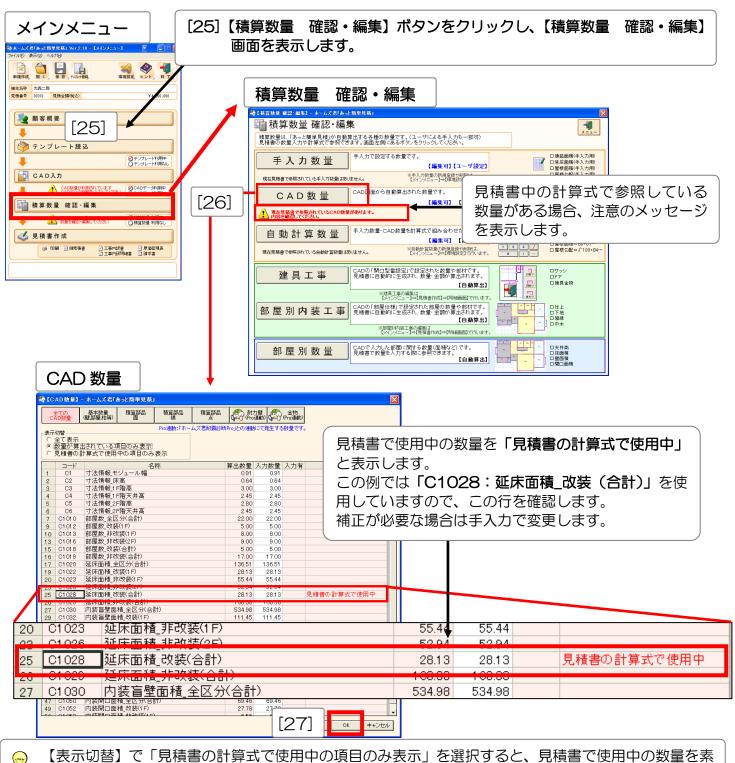
メインメニューに戻る際に、「建具工事」「部屋別内装工事」の解説画面を表示します。

【部屋仕様】を行った場合

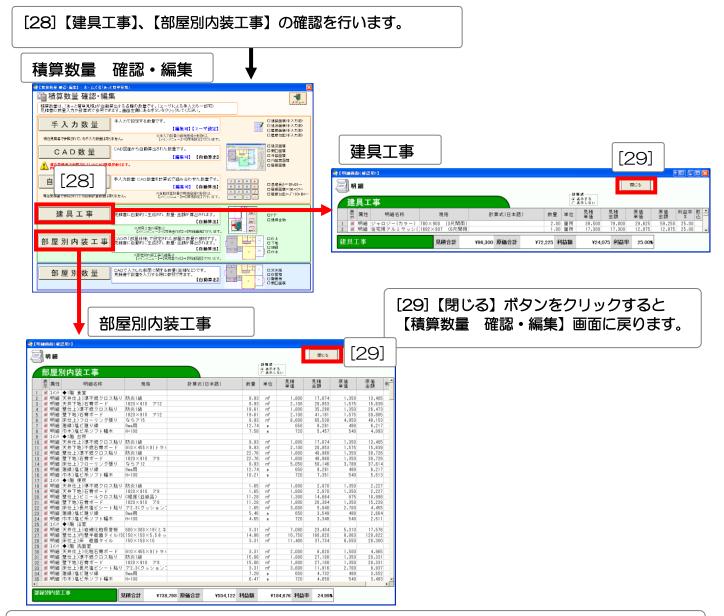
1,405,802 1,054,390

の屋(上球) と13 シルップ 見積書内訳画面に工事名称 「部屋別内装工事」 が自動発生し、部屋毎の仕上下地材が明細として自動集計されます。

例題 2-5 積算数量の確認・編集

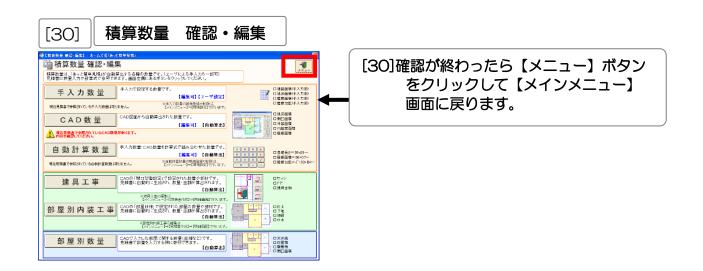


- 【表示切答】で「兒債者の計算式で使用中の項目のみ表示」を選択すると、兒債者で使用中の数量を系 早く確認できます。
- [26]【CAD数量】ボタンをクリックして【CAD数量】画面を表示します。見積書の計算式で使用する「延床面積」改装(合計)」を確認します。補正が必要な場合は【入力数量】に手入力で数値を入力します。
- [27]確認が終わったら【CAD数量】画面の【OK】ボタンをクリックし【積算数量 確認・編集】画面に 戻ります。



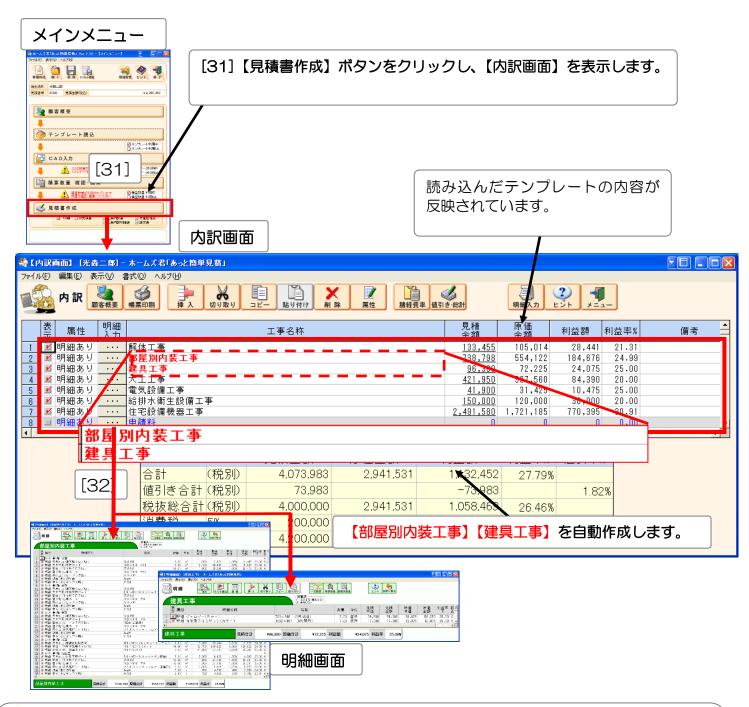


【建具工事】、【部屋別内装工事】では、自動算出した数値の確認のみを行うことができます。 編集は【見積書作成】で行います。



例題 2-6 見積書内訳の確認

内訳画面、明細画面には、読み込んだテンプレートの工事名称や各種金額、利益率が入力されています。





CAD 入力で【部屋仕様】【開口型番設定】の設定を行った場合、内訳画面で【部屋別内装工事】 【建具工事】を自動作成します。

これらは特別な工事名称なので、同じ名称の工事は作成できません。

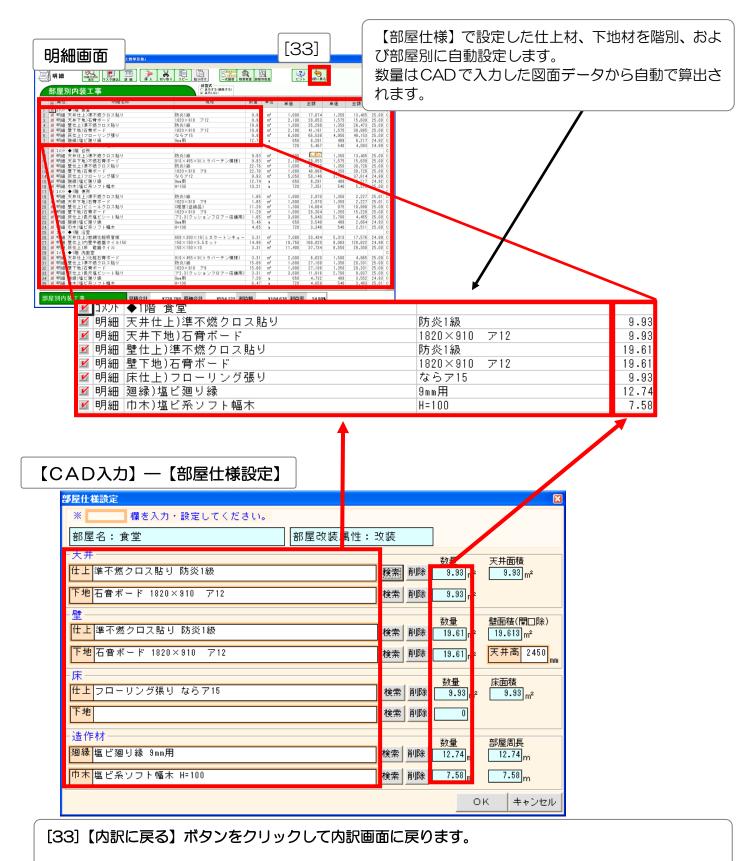
[32]【明細入力】列の【・・・】ボタンをクリックするか、【明細入力】ボタンをクリックすると明細入力 画面に移ります。



【明細入力】【見積金額】【原価金額】【利益額】【利益率】の列でダブルクリック、もしくは【明細入力】 【見積金額】で Enter キーを押すことでも明細入力に移ります。

例題 2-7 見積書明細項目の確認・入力

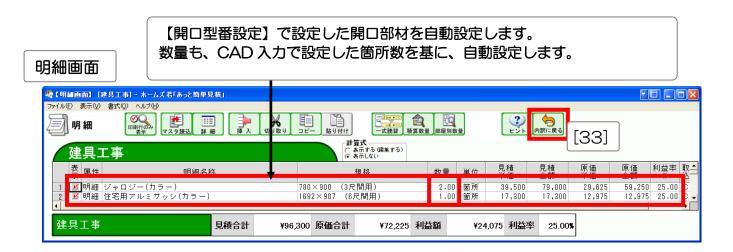
【部屋別内装工事】の明細項目にはCAD入力の【部屋仕様】で設定した部材の名称、規格、数量等を自動で設定します。

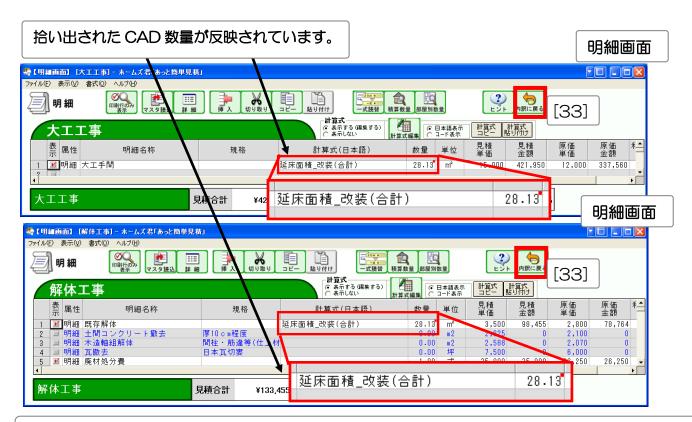


33

(i) Esc キーを押すことでも内訳画面に戻ります。

例題2 水廻りリフォーム見積 --テンプレートとCAD入力を使用するプラン--【建具工事】の明細項目にはCAD入力の【開口型番設定】で設定した部材の名称、規格、数量等を自動で設定 します。





【CAD入力】で拾い出されたCAD数量が、明細項目の【数量】に反映されます。この例では、自動 算出した「延床面積」改装(合計)」の数量「28.13」を自動設定します。

[33] 【内訳に戻る】 ボタンをクリックして内訳画面に戻ります。

(i) Esc キーを押すことでも内訳画面に戻ります。

例題 2-8 諸経費の設定

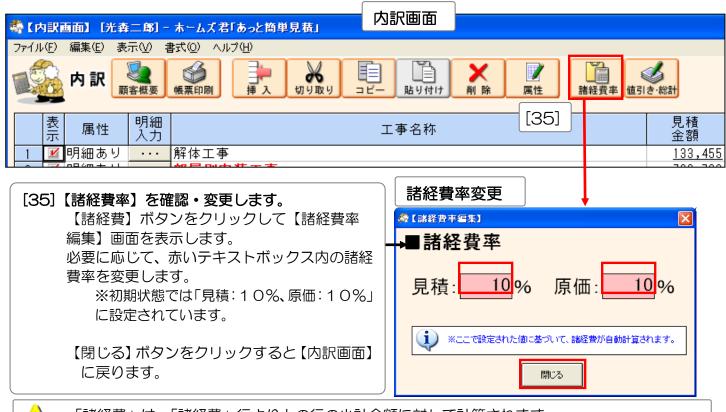
「C2O3 リフォーム(水廻り、台所、食堂)部屋別見積」のテンプレートには、「諸経費」行が含まれていません。【内訳画面】に、別途「諸経費」行を作成する必要があります。



[34] 【内訳画面】の最下行に「諸経費」行を作成します。

空白の行を選択して【属性】ボタンをクリックし、【属性の設定】画面を表示します。「諸経費」 を選択して【OK】ボタンをクリックすると「諸経費」行が作成されます。

諸経費率(初期状態では「見積:10%、原価:10%」)に応じて諸経費が計上されます。



4

「諸経費」は、「諸経費」行より上の行の小計金額に対して計算されます。 諸経費率を変更すると、【内訳画面】の諸経費行の金額が自動で再計算されます。

例題 2-9 値引きの設定



- [37] 【一式%金額値引き】と【任意金額値引き】をそれぞれ入力します。
 - ここでは【任意金額値引き】に「73983」を入力します。
 - ※関連する項目を自動計算します。
- [38] 【施工面積】を入力します。ここでは「28.13」と入力します。
 - ※「坪単価」・「㎡単価」は、施工面積を基に自動算出します。



ここで入力する「施工面積」は「坪単価」「㎡単価」を算出するためだけに使用します。

[39] 【閉じる】 ボタンをクリックすると内訳画面に戻ります。

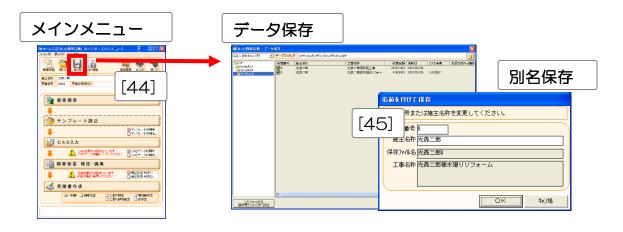
例題 2-10 作成した見積書の印刷

内訳画面



- [40]【帳票印刷】ボタンをクリックします。
- [41]印刷する帳票を選択します。ここでは【お客様用帳票】の【御見積書】、【工事内訳書】、 【工事内訳明細書】をクリックします。
- [42] 【印刷】ボタンをクリックすると、選択した帳票を印刷します。 ※印刷プレビュー、PDF 出力も行うことができます。
- [43] 【メニュー】 ボタンをクリックしてメインメニューに戻ります。

例題 2-11 作成した見積書の保存



- [44] 【メインメニュー】の【保存】ボタンをクリックします。
- [45]【データ保存】画面で【保存】ボタンをクリックし、保存します。
 - ※データは【見積番号】と【施主名称】で区別します。
 - ※【別名保存】をクリックすると【見積番号】または【施主名称】を変更して保存します。

以上で見積書の作成は終了です。

例題 3 耐震補強工事の概算見積 ーテンプレートと CAD 入力を使用するプランー

耐震補強工事の概算見積書を作成します。

作成には、テンプレートとCADを使用します。

使用するテンプレートについて

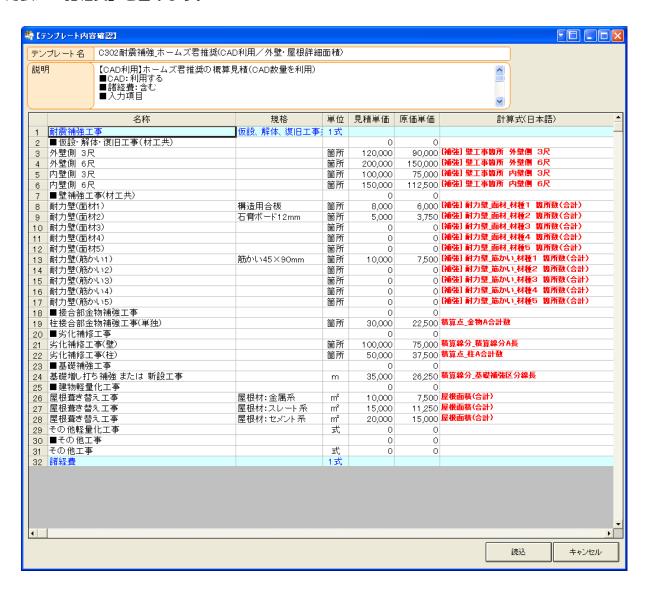
名称: C3O2 耐震補強_ホームズ君推奨(CAD 利用/外壁・屋根詳細面積)

内容:

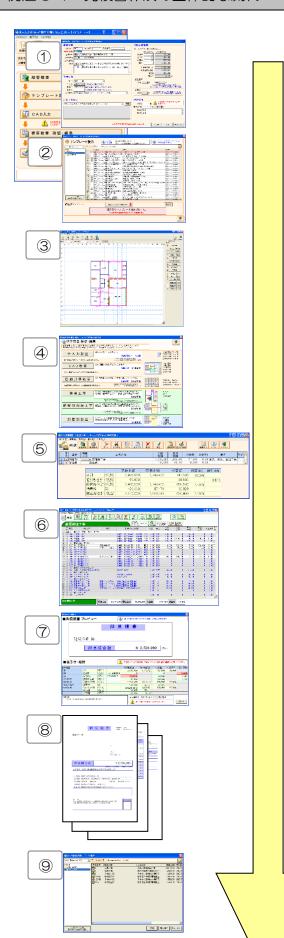
■計算式に CAD 数量を使用しているため、CAD 入力が必要です。

※CAD 入力を行うことで、CAD データから自動拾いされた積算数量(面材箇所数など)が、 明細項目の【数量】に自動設定します。

- ■明細項目に各工事の仕様が設定されているので、選択する必要があります。
- ■内訳に「諸経費」を含みます。



例題 3-1 見積書作成の全体的な流れ



本例題ではサンプルデータの「建望六助」の作成を例にとって説明します。

ホームズ君「あっと簡単見積」を起動して、 【メインメニュー】画面を表示します。 テンプレートと CAD 入力を使用した場合の見積書 作成の一般的な流れを以下に示します。

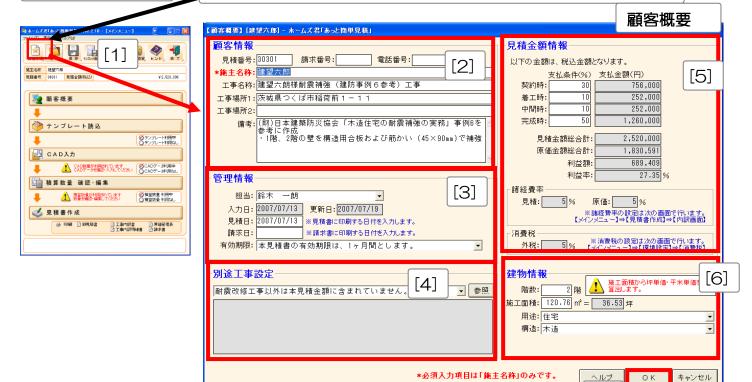
- ① 顧客概要を入力します。
- ② 取り込むテンプレートを選択します。
- ③ CAD 入力を行います。
- ④ 積算数量の確認、編集を行います。
- ⑤ 見積書の内訳の確認を行います。
- ⑥ 内訳の明細項目を入力します。
- ⑦ 値引きの設定を行います。
- ⑧ 作成した見積書を印刷します。
- ⑨ 作成した見積書のデータを保存します。

次ページから各項目の詳しい入力方法を解説します。

例題 3-2 顧客概要の入力

メインメニュー

[1]新規作成ボタンをクリックし、【顧客概要】画面を表示します。



[2]顧客情報を入力します。

各項目にカーソルを合わせ、直接入力します。

- ■【見積番号】任意の番号を入力します。 ■【施主名称】**必須入力項目です**。「建望六郎」とします。
- ■【工事名称】「新築工事」とします。
- ■【工事場所1、2】工事場所の住所を入力します。

[3]管理情報を入力します。

- ■【担当】見積担当者の名前を選択します。
- ■【見積日】見積書に印刷する日付を入力します。
- ■【請求日】請求書に印刷する日付を入力します。 ■【有効期限】見積書の有効期限を入力します。

[4]別途工事設定を入力します。

別途工事のメッセージをプルダウンリストから選択します。

【参照】ボタンをクリックし、【別途工事選択】画面から追加したい工事の「対象」列をクリックして 選択します。選択した工事を下の欄に表示します。

[5]見積金額情報を入力します。

各項目にカーソルを合わせ、直接入力します。

[6]建物情報を入力します。

■【階数】建物の階数を入力します。

- ■【施工面積】は、【値引き・総計】画面で入力します。
- ■【用途】プルダウンリストから建物の用途を選択します。
- ※【顧客概要】画面で入力することもできます。

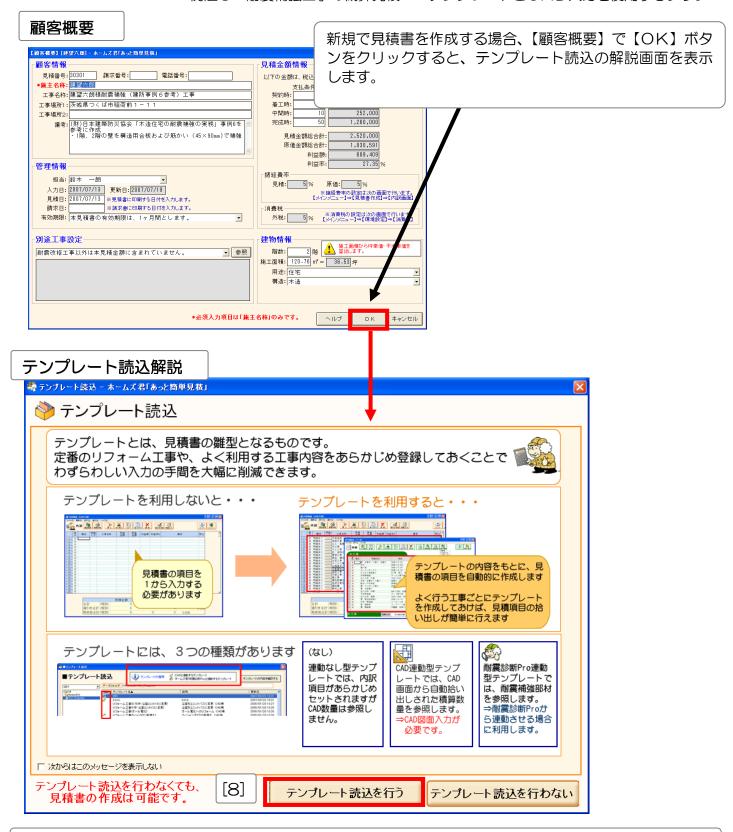
ヘルブ [7]

■【構造】プルダウンリストから建物の構造を選択します。

[7]入力が終了したら、【OK】ボタンをクリックします。

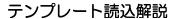


顧客概要の灰色の箇所は、内容が自動で入力される箇所です。



[8] 【テンプレート読込を行う】をクリックし、テンプレート読込画面に移ります。

例題 3-3 テンプレートの読込





[9]「C302耐震補強_ホームズ君推奨(CAD利用/外壁・屋根詳細面積)」をクリックして選択します。

※選択したテンプレートの行を赤く表示します。



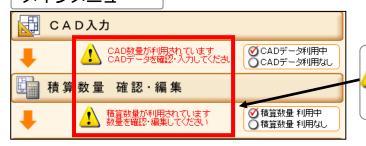


[10]テンプレートを選択した状態で【選択したテンプレートを読み込む】ボタンをクリックし【テンプレート内容確認】画面を表示します。

※行をダブルクリックしても、【テンプレート内容確認】画面を表示することができます。

- [11]テンプレートの内容を確認します。
 - ※【説明】には、テンプレートの概要が表示されています。(CAD入力の必要性、入力項目等)
 - ※入力が必要な積算数量(CAD入力、手入力数量等)を表示します。
 - ※青行の項目→内訳画面の工事名称、白行の項目→明細画面の明細項目(名称、規格、単位、単価等)
- [12] 【読込】 ボタンをクリックすると、見積書の内訳・明細画面にテンプレートの各項目を自動設定します。
- [13] 【テンプレート読込】の【メニュー】ボタンをクリックし、メインメニューに戻ります。

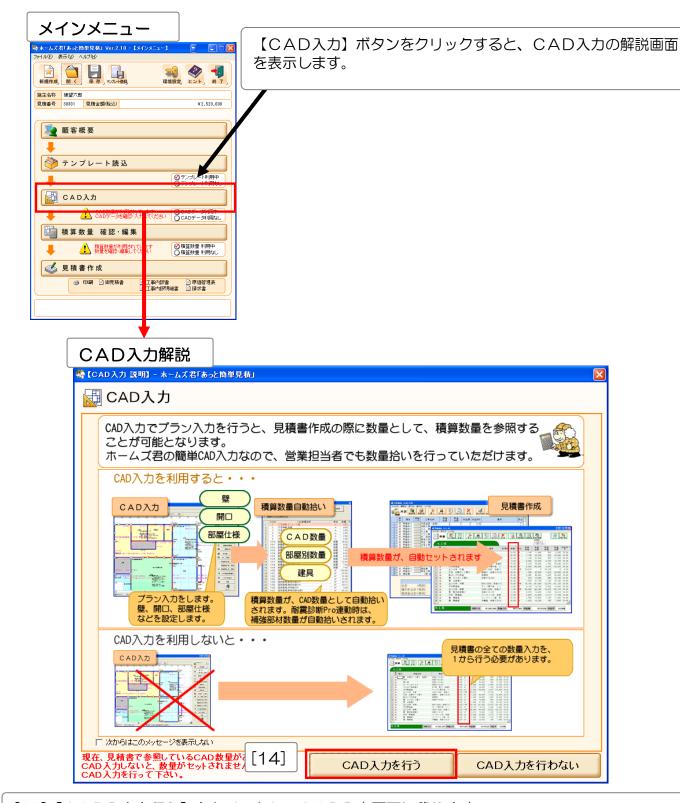
メインメニュー



テンプレート読込の結果、利用する積算数量が 発生した場合は、メインメニューに注意のメッセージを表示します。

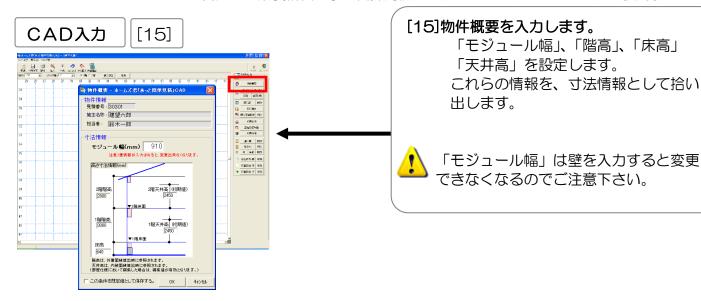
例題 3-4 CAD 入力 面材耐力壁、筋かいの入力

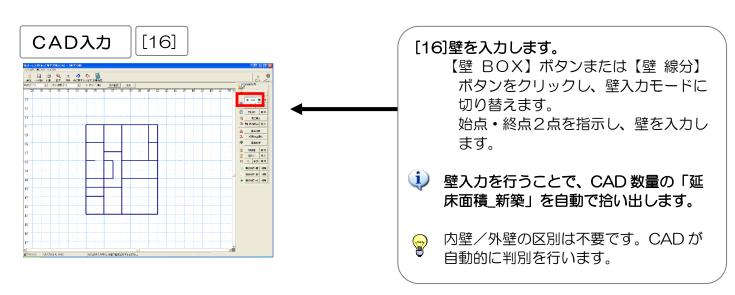
CAD 入力の詳しい入力方法は別冊のユーザーズマニュアル「第6章 CAD 入力」をご覧ください。 CAD 入力では、工事の対象となる物件の情報を全て入力する必要はありません。工事の対象箇所の情報 のみ入力すれば OK です。

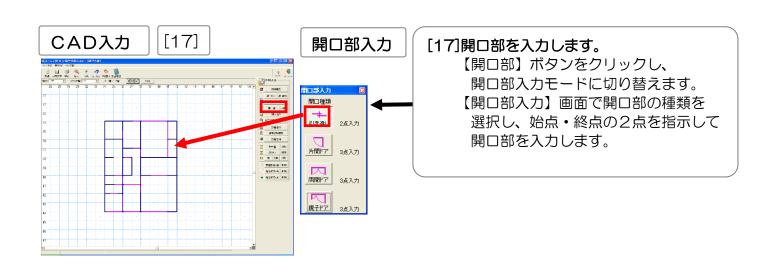


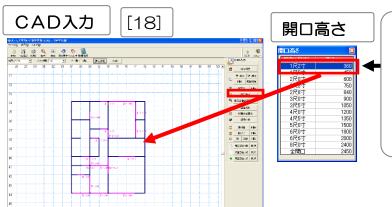
[14]【CAD入力を行う】をクリックし、CAD入力画面に移ります。

例題3 耐震補強工事の概算見積 ―テンプレートとCAD入力を使用するプラン―



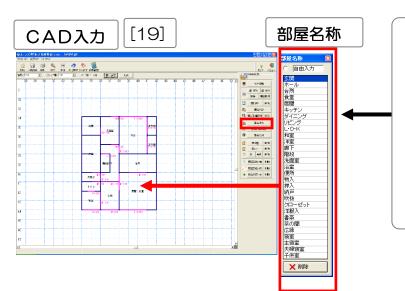






[18]開口高さを入力します。

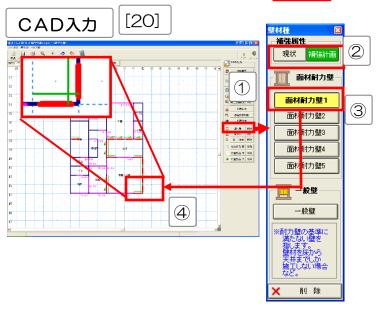
【開口高さ】ボタンをクリックし、開口高さ設定モードに切り替えます。 【開口高さ】画面で高さを選択し、高さを設定したい開口部を選択して、開口高さを設定します。



[19]部屋名称の設定を行います。

リストから名称を選択、図面上に入力します。自由入力欄を利用して任意の名称 を設定することもできます。

この例では「和室」「台所」「床の間」「居間・食堂」「洗面室」「階段廊下」「玄関」 「浴室」「倉庫」「トイレ」「物置」を設 定しています。

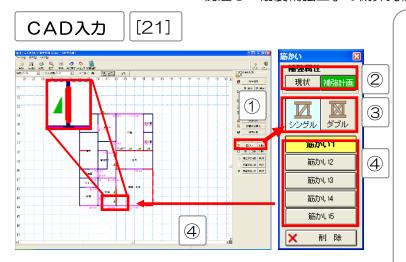


[20]面材耐力壁を入力します。

- ①【壁材種】ボタンをクリックし【壁材種】 画面を表示します。
- ②【補強属性】を選択します。 ここでは「補強計画」を選択します。
- ③面材耐力壁、もしくは一般壁を選択します。 面材耐力壁は5種類まで選択できます。ここでは「面材耐力壁1」を選択しています。
- ④3点入力(始点、終点、方向)で図面上 に入力します。

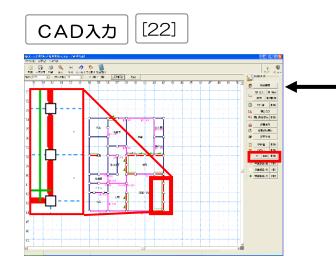


耐震補強工事に使用する面材は、 「補強計画」で入力します。



[21]筋かいを入力します。

- ①【筋かい】ボタンをクリックし【筋かい】 画面を表示します。
- ②【補強属性】を選択します。 ここでは「補強計画」を選択しています。
- ③「シングル」「ダブル」どちらかの 筋かいを選択します。
- ④筋かいの種類を選択します。筋かいは5種類まで選択できます。ここでは「筋かい1」を選択します。
- ⑤2点入力で図面上に入力します。 1点目が柱脚、2点目が柱頭です。 ご注意下さい。



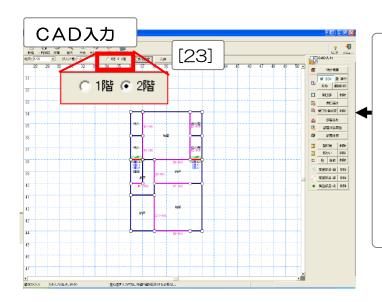
[22]柱の設定を行います。

【柱】ボタンをクリックし、柱入力モード に切り替えます。

柱を設定したい箇所にマウスカーソルを 合わせ、クリックします。

্ব

【自動】ボタンをクリックすると、柱を自動で設定することができます。その場合は「耐力壁の両端」 「開口部の両端」「部屋区画の頂点」に自動設定します。



[23] 2階部分を作成します。

画面上部のオプションで階数を選択します。

[16]壁の入力

[17]開口部の入力

[18]開口高さの入力

[19]部屋名称の設定

[20]面材耐力壁の入力

[21]筋かいの入力

[22]柱の設定

と同様の操作を行い、2階部分を作成します。

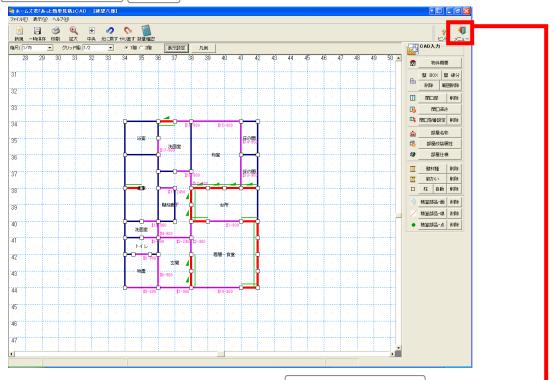
メインメニュー



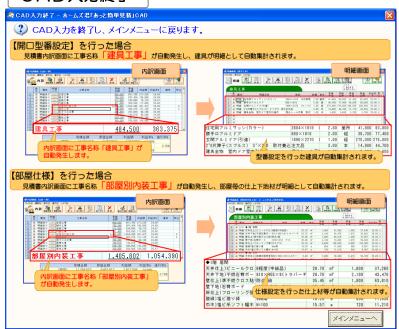


CAD入力の結果、利用する積算数量が発生した場合は、メインメニューに注意のメッセージを表示します。

CAD入力 [24] 題3 耐震補強工事の概算見積 一テンプレートとCAD入力を使用するプラン―



CAD入力終了

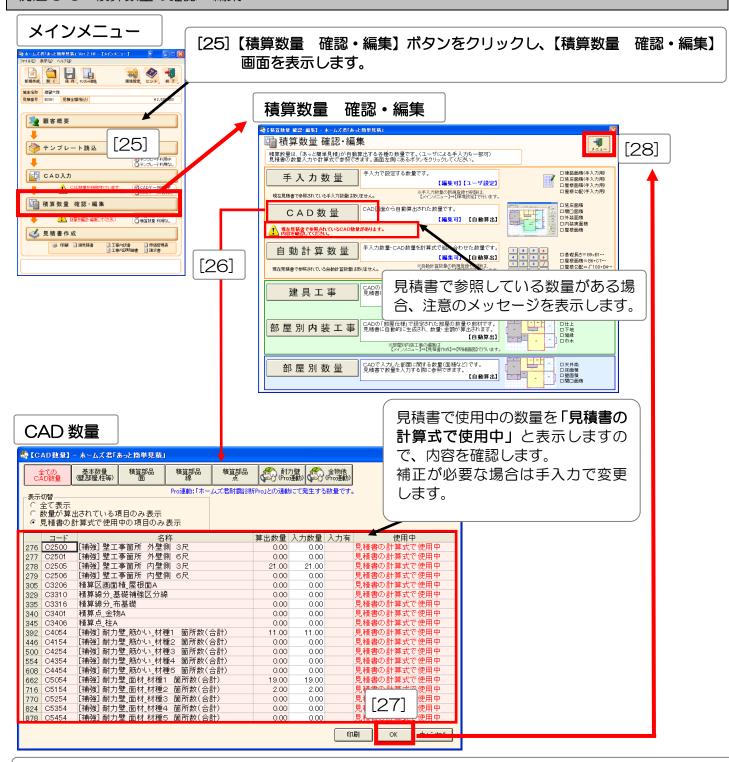


[24] 【メニュー】 ボタンをクリックし、メインメニューに戻ります。



メインメニューに戻る際に、「建具工事」「部屋別内装工事」の解説画面を表示します。

例題 3-5 積算数量の確認・編集



【表示切替】で「見積書の計算式で使用中の項目のみ表示」を選択すると、見積書で使用中の数量を素早く確認できます。

[26]【CAD数量】ボタンをクリックして【CAD数量】画面を表示します。

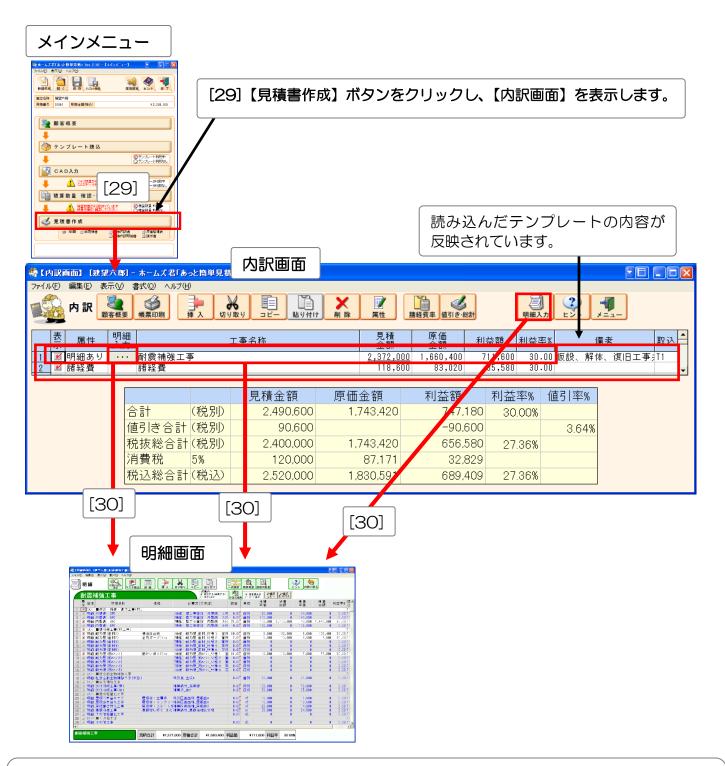
CAD入力によって各数量を自動算出します。「計算式で使用中」となっている数量を確認してください。補正が必要な場合は手入力で設定します。

[27]確認が終わったら【CAD数量】画面の【OK】ボタンをクリックし【積算数量 確認・編集】画面に 戻ります。

[28]【積算数量 確認・編集】画面の【メニュー】ボタンをクリックしメインメニューに戻ります。

例題 3-6 見積書内訳の確認

内訳画面や明細画面には、読み込んだテンプレートの工事名や各種金額、利益率を自動入力します。 また、諸経費項目が含まれているので、設定した諸経費率をもとに、その金額を自動算出します。



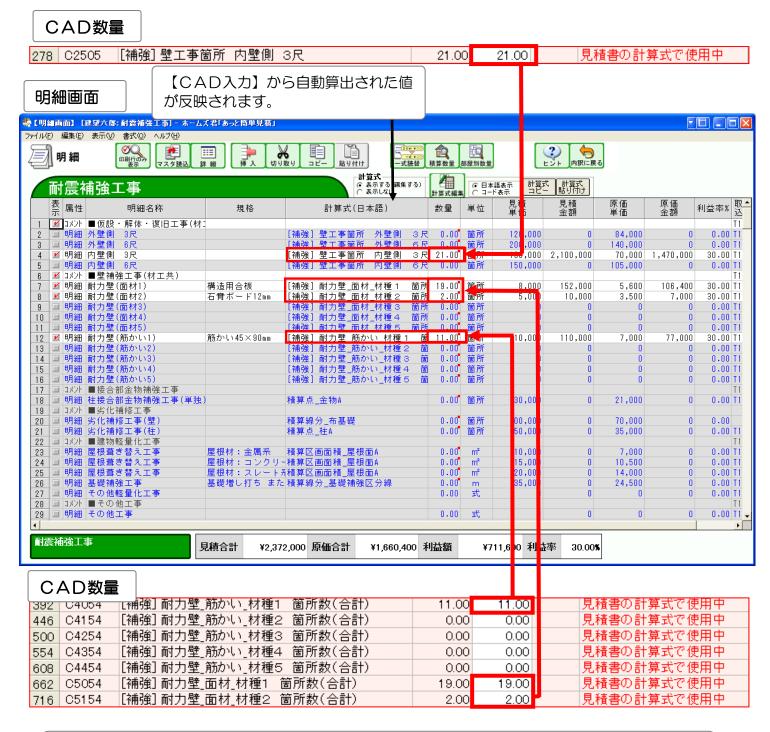
[30] 【明細入力】列の【・・・】ボタンをクリックするか、【明細入力】ボタンをクリックすると明細入 力画面に移ります。



【明細入力】【見積金額】【原価金額】【利益額】【利益率】の列でダブルクリック、もしくは【明細入力】 【見積金額】で Enter キーを押すことでも明細入力に移ります。

例題 3-7 見積書明細項目の確認

明細画面の【計算式】列にCAD数量を設定している場合には、【CAD入力】から自動算出された数量が、明細項目の数量に反映されます。





設定された計算式によって、以下のCAD数量を明細項目の数量に自動設定します。

- ■「[補強] 壁工事箇所 内壁側 3尺」の数量 ⇒「内壁側 3尺」の数量
- ■「[補強] 耐力壁 面材 材種1 箇所数(合計)」の数量 ⇒「耐力壁(面材1)」の数量
- ■「[補強] 耐力壁 面材 材種2 箇所数(合計)」の数量 ⇒「耐力壁(面材2)」 の数量
- ■「[補強] 筋かい 材種1 箇所数(合計)」の数量 ⇒「耐力壁(筋かい1)」の数量

[31] 明細画面



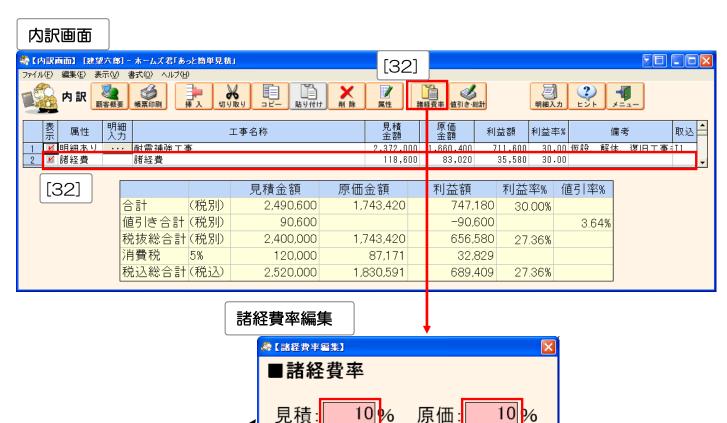
[31]内容の確認、入力が終了したら、【内訳に戻る】ボタンをクリックして内訳画面に戻ります。



Esc キーを押すことでも内訳画面に戻ることができます。

例題 3-8 諸経費の設定

「C301耐震補強_ホームズ君推奨(CAD利用)」のテンプレートを読み込んだ時点で、【内訳画面】に「諸経費」行が作成されていますので、諸経費率の確認・変更を行います。



[32] 【諸経費率】を確認・変更します。

【諸経費】ボタンをクリックして【諸経費率編集】画面を表示します。必要に応じて、赤いテキストボックス内の諸経費率を変更します。

※ここで設定された値に基づいて、諸経費が自動計算されます。

閉じる

※初期状態では「見積:10%、原価:10%」に設定されています。

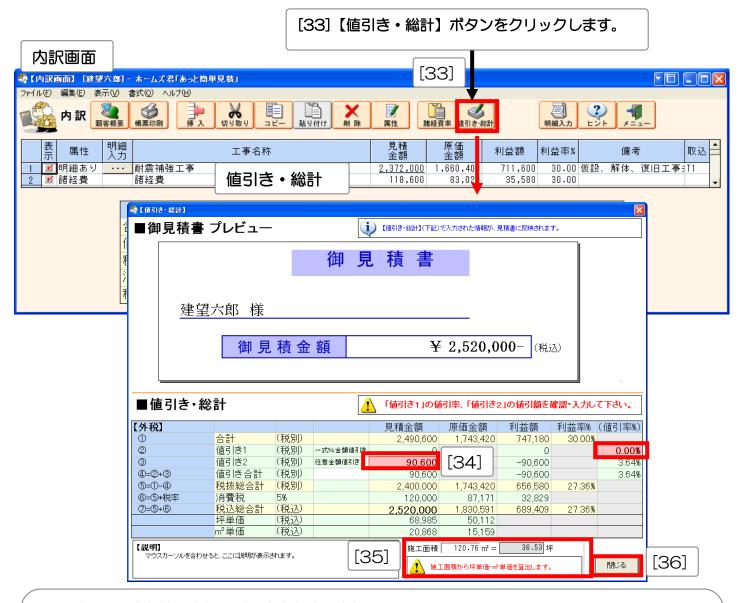
【閉じる】ボタンをクリックすると【内訳画面】に戻ります。

(i)



「諸経費」は、「諸経費」行より上の行の小計金額に対して計算されます。 諸経費率を変更すると、【内訳画面】の諸経費行の金額が自動で再計算されます。

例題 3-9 値引きの設定



[34] 【一式%金額値引き】と【任意金額値引き】をそれぞれ入力します。

ここでは【任意金額値引き】に「90600」を入力します。

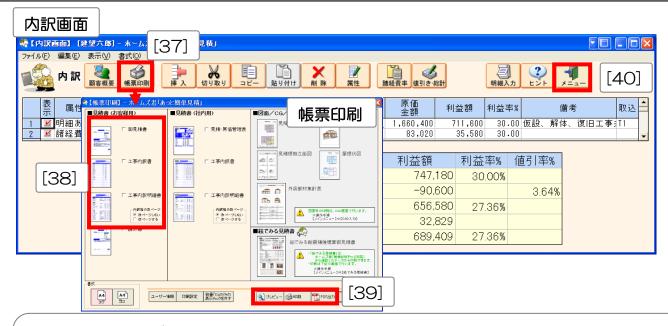
- ※関連する項目を自動計算します。
- [35] 【施工面積】を入力します。ここでは「120.76」と入力します。
 - ※「坪単価」・「㎡単価」は、施工面積を基に自動算出します。



ここで入力する「施工面積」は「坪単価」「㎡単価」を算出するためだけに使用します。

[36] 【閉じる】 ボタンをクリックすると内訳画面に戻ります。

例題 3-10 作成した見積書の印刷



- [37]【帳票印刷】ボタンをクリックします。
- [38]印刷する帳票を選択します。ここでは【お客様用帳票】の【御見積書】、【工事内訳書】、 【工事内訳明細書】をクリックします。
- [39] 【印刷】ボタンをクリックして、選択した帳票を印刷します。 ※印刷プレビュー、PDF 出力も行うことができます。
- [40] 【メニュー】ボタンをクリックしてメインメニューに戻ります。

例題 3-11 作成した見積書の保存



- [41] 【メインメニュー】の【保存】ボタンをクリックします。
- [42]【データ保存】画面で【保存】ボタンをクリックし、保存します。
 - ※データは【見積番号】と【施主名称】で区別します。
 - ※【別名保存】をクリックすると【見積番号】または【施主名称】を変更して保存します。

以上で見積書の作成は終了です。

ユーザーサポート

お問合わせ先 :(株) インテグラル

TEL番号: 050-3104-6477 FAX番号: 029-850-3334

電子メールアドレス: homes-support@integral.co.jp

サービス時間:月~金 10:00~12:00

13:00~17:00

※1 製品のお問い合わせは、商品同封の「お問い合わせ FAX シート」にご記入の上 FAX にて受付けます。

※2 土・日曜、祝祭日、年末年始などの弊社の休業日は、サポート対象外となります。

※3 ユーザーサポートは、ホームズ君「すまいの安心フォーラム」(ユーザー会員組織)への ご入会が必要となります。

サポート内容の詳細につきましては、ホームズ君「すまいの安心フォーラム」ホームページをご覧ください。(https://www.homeskun-f.com/)

ホームズ君「あっと簡単見積」 実例集

~実際に見積書を作ってみよう!~

2007年 2月 13日 初 版 発行 2025年 2月 7日 第12版 発行

著作/発行 株式会社インテグラル

https://www.integral.co.jp/ 茨城県つくば市学園南2丁目7番地

TEL: 029-850-3331 FAX: 029-850-3334

無断転載を禁ず